

反原発団体 関電に抗議

「背信行為は許せない」

関西電力幹部が高浜町の森山栄治元助役から金品を受け取っていた問題を受け、県内の市民団体でつくる「オール福井反原発連絡会」が二十七日、美浜町の関西電力原子力事業本部で抗議文を提出した。「背信行為は絶対許せない」と訴え、責任追及などを要求し

た。連絡会は当初、老朽原発の安全対策に関する要望書を提出する予定だったが、報道を受けて金品問題への抗議文を提出することにした。連絡会メンバー八人が訪れ、抗議文を朗読。関電側は広報担当者一人が対応した。

抗議文はA4判の用紙一枚。「原発の建設費は電気料金や国からの補助金で賄われており、いわば国民の金を裏金ルートに乗せ着服した」と指摘し、問題の再調査や説明、老朽原発の廃炉など四項目を要望した。

「LINKを守る高浜・おおいの会」の東山幸弘代表(左)は提出後、報道陣に対し、森山氏について「関電幹部は頭が上がらない相手だった」と説明。「『実力』で押さえ付け、原発反対の声を挙げられない状態をつくってきた」と批判した。

(梶山佑)



関電社員(左)に抗議を伝えるオール福井反原発連絡会のメンバーら。27日、美浜町の関西電力原子力事業本部で